



学校だより



小川小学校

○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子

令和3年6月28日 No.12

《無意識の思い込みについて》

平成13年度より毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」と決定されました。この期間中は、男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念に対する国民の理解を深め、男女共同参画社会の実現に向けて様々な取組が行われ、気運醸成を図ることを目的としています。本年度は「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ」というのキャッチフレーズです。

では、男女共同参画と言うことを学校では指導をしているのですか？と聞かれると、各教科・領域の授業で「男女共同参画（男女平等教育）」視点をもって指導をしています。

男女共同参画に関する学習指導要領の主な記述には、次のものがあります。

家庭

〔第5学年及び第6学年〕

1 内容

A 家族・家庭生活

(2) 家庭生活と仕事

ア 家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることや生活時間の有効な使い方について理解すること。

特別の教科 道徳

B 主として人との関わりに関すること
〔友情、信頼〕

〔第5学年及び第6学年〕

友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。

（学習指導要領には下線はありません）

特別活動

〔学級活動〕

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

イ よりよい人間関係の形成

学級や学校の生活において互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲よくしたり信頼し合ったりして生活すること。



過去の研修に参加した際、次のような課題が出ました。

『父親とその息子が交通事故に遭いました。二人とも大けがをして救急車で別々の病院へ搬送されました。息子のほうを担当した外科医は顔を見るやいなや「これは私の息子です。」と叫びました。一体どのような状況でしょうか。』

答えは「外科医は患者の母親だった」ということです。

以前、研修に参加してこの問題を出されたとき、ある参加者は「父親がけがしているにもかかわらず、息子を助けるために息子の病院へけがをしているにもかかわらず来たのではないか」また「父親が二人いるのではないか」など、混乱しながら答えていました。

答えを聞くとなるほどと納得していましたが、外科医と聞いて男性だという「無意識の思い込み」をもっていたのだと思いました。そして、私たち教職員の意識も大切で、「学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム」の中に次のよう掲載されています。

男女共同参画の推進には、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付いて言動等を見直していくことが必要です。特に、学校教育において教職員が男女共同参画を推進する意識の醸成を図ることは、児童生徒の男女共同参画意識を育むための基盤とも言えます。（文部科学省「次世代のライフプランニング教育推進事業」より）【裏面に続きます】

また、埼玉県教育委員会では、以前、中学校の保護者の皆様を対象としたリーフレットが配付され、次のように掲載されておりました。

家庭においては、社会的・文化的に形成された男女の固定的な役割分担意識にとらわれず、あらゆる分野の活動に男女ともに参加できる男女共同参画の視点にたって、一人一人の子どもの個性を伸ばすことが大切です。

大人に男女の固定的な役割分担意識がある場合、それが子どもに影響し、先入観を生み出す原因となります。そこで、大人が男女共同参画の視点で自らの言動をふり返りながら、親子で話し合う機会が必要です。また、皆さんの「子どもに期待する人間像」の中に、性別による偏りがないかを見直すことも必要です。

「場面1」から「場面4」は、男女平等の関係を築くために、日常生活で想定される内容です。これらを活用し、「わが家の男女平等」について話し合い、取り組んでみましょう。



男女平等教育資料（中学生用）

男女共同参画社会の実現をめざして

男女の人権が尊重される、豊かで活力ある社会になる
といいね！



埼玉県のマスコット コバトン

**仕事も子育ても
男性も女性も**

場面1
「パパは、洗濯しよう。ママは料理してね。」
「じゃあ、ぼくもいっしょにやるよ。」

**みんなで計画し
みんなで決める**

場面2
「家をリフォームしましょうか。」
「みんなで集まり、リビングやキッチンについて考えてみよう」

**お互いに暴力は
ふるわない**

場面3
「お互いを大切に、仲良く、けんかしないようにしよう。」
「私も同意。そんな私達を子どもにみせたいわ。」

**「自分らしさ」で
職業選択**

場面4
「看護師をめざして、実習中なんだ。」
「私は、物理を勉強して、ノーベル賞をめざすわ。」

お互いを尊重し合える 男女平等の関係を築こう！

埼玉県教育委員会

平成24年3月

なお、本校では男女平等の視点として男女混合の名簿や教師が児童を呼ぶ際には、男女関係なく「〇〇さん」と呼んでいます。

《水泳学習が順調に進んでいます。しかし・・・》

水泳学習が順調に進んでいます。当初各学年が5回（5時間）計画をしていた水泳学習ができそうです。うれしい限りです。だがしかし、先週は水着に着替え、いざプールに向かうと空から雨粒がぽつりぽつりと落ちてきました。このくらいなら実施できると判断して授業を行うと晴れてくるときと、逆に雨が激しく振り始めてくる学年と判断にとっても苦慮しました。

まだこの先も青空で確実に水泳学習ができる、と思う日が少ないと思います。保護者の皆様には、水着やバスタオル等の洗濯でお手間を取らせてしまうことがあります。また、1年生の保護者の方には、お風呂で顔に水がかかる練習などを行っていただければありがたいです。どうぞご協力をお願いいたします。



【さすが5年生、待つ姿勢がすばらしい】



【とても初めてと思えない立派な態度で臨む1年生】



【水に顔をつけられる1年生、苦戦している1年生】